



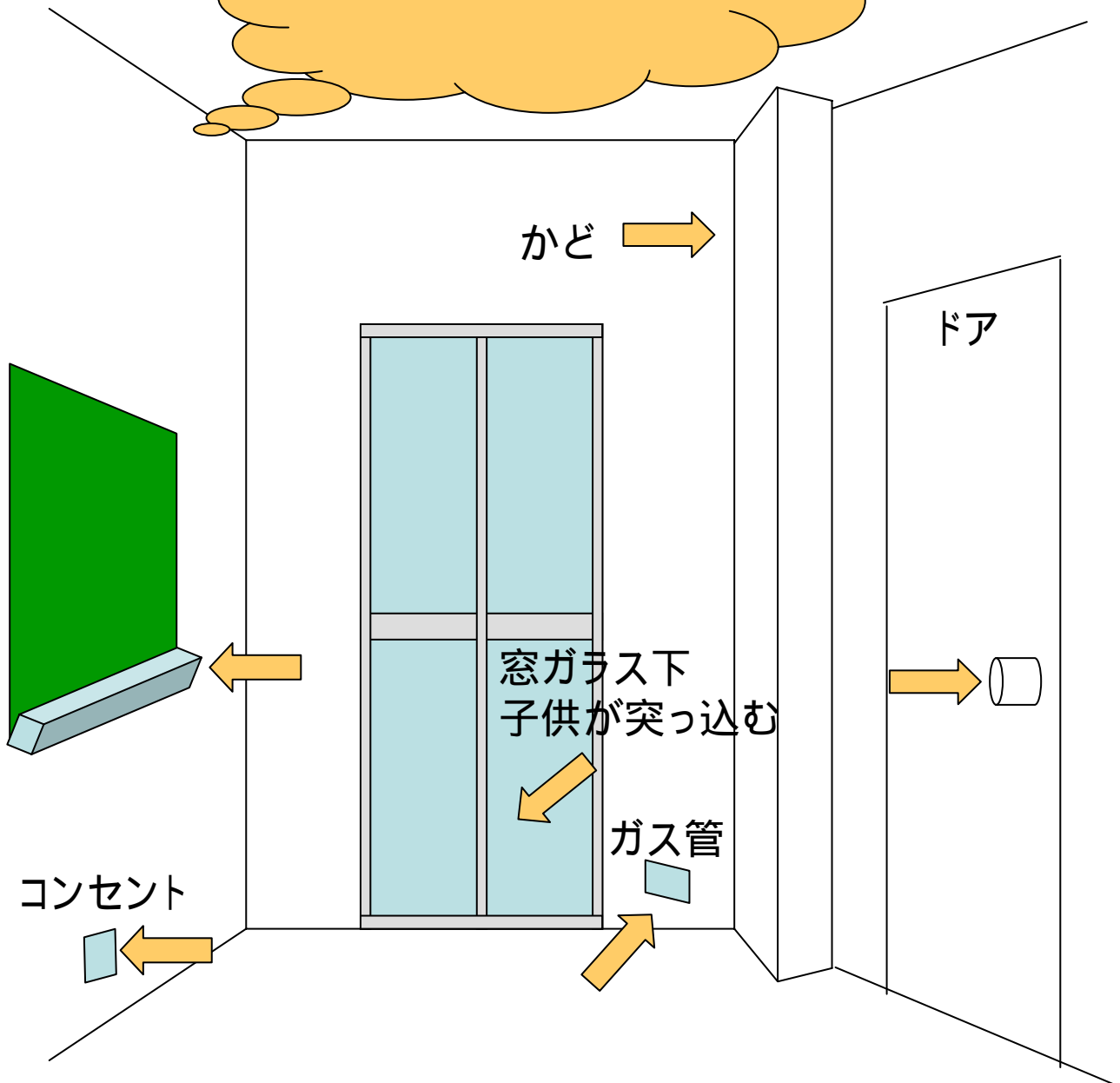
安全快適な 託児室の設置について

中家 剛 & 野尻 美保子

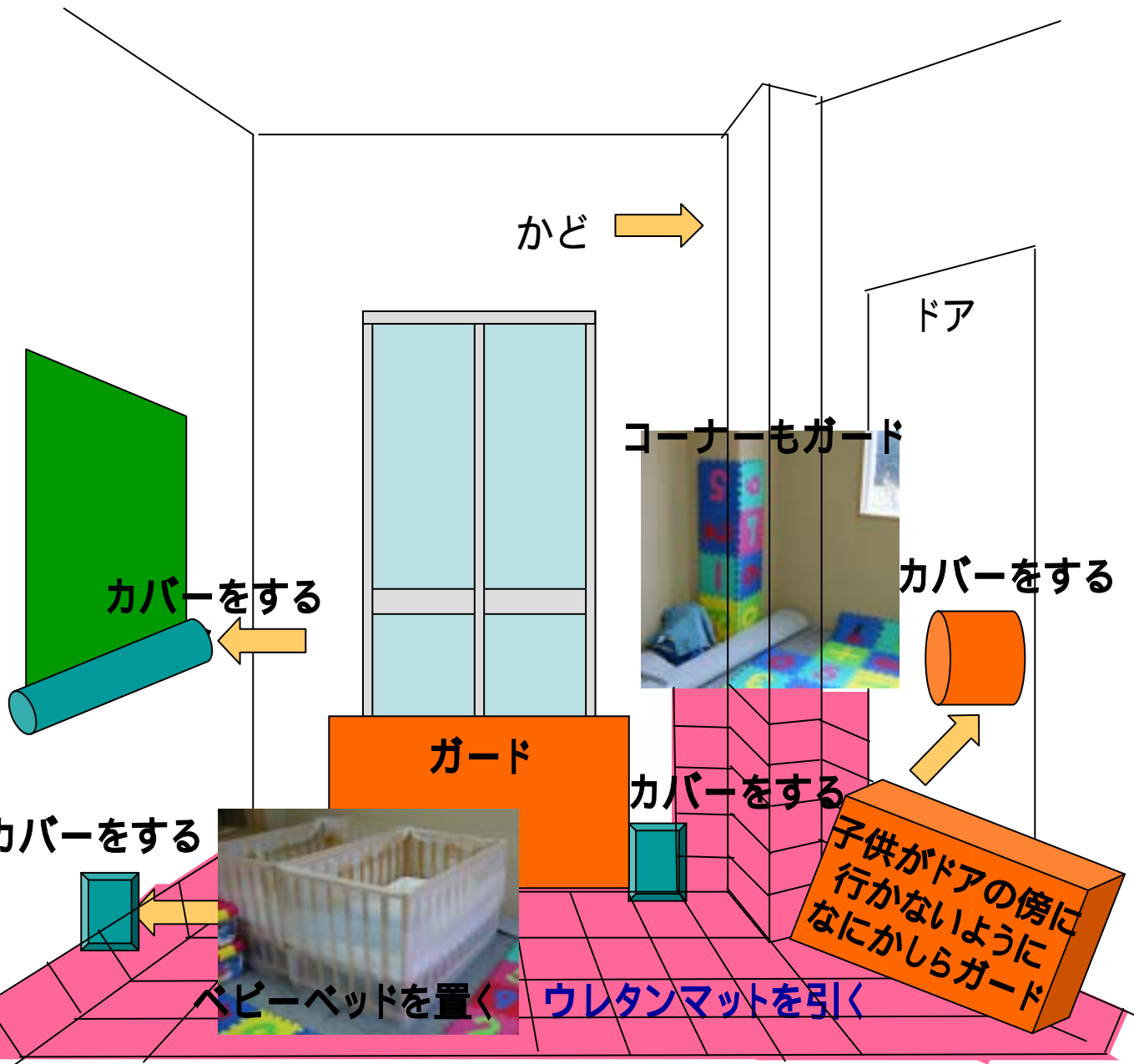
2001年秋日本物理学会分科会
立命館大学開催を例に

誰でも作れる託児室1 (設置前)

危険がいっぱい



誰でも作れる託児室1 (設置後)



まず床にウレタンマットを引き詰める(表紙参照)

次に黒板の端、角、コンセント、ガス管、ドアノブ、窓ガラス下、ガラスのサンなどに子供がぶつからないようにガードする。

ベビーベッドを配置する。直射日光が入る場所、エアコンの噴出し口の側は避ける。ベビー別途の周囲もガードする。下の写真参照。

ふすま等があれば、そこにも子供が衝突しないよう、養生のためガードする。



玄関(入り口)等も段になっていたりして子供が落ちる危険性がある場合はウレタンマットを引く。ドアがある場合はどの側に子供が行かないようにする。

テレビ、ビデオの角も危ないので、ウレタンマット(この場合は+座布団)でガードする。

お絵かき用の机の角も危ないので、梱包材等でガードする。



誰でも作れる授乳室



外から中が見えないようについ立を設置



授乳用に椅子数脚を設置。
またオムツ替えようにウレタン
マットを3×3に敷く。



授乳室ではミルクを作るために、
電子レンジ、湯沸しポット、水は
必需品。